

学校だより

# プラタナス



令和2年10月5日(月)

No.24 市川市立市川小学校  
校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>



## 他人に不快感を与えず、自分も快適になれる「マナー」

何気なく「マナー」「エチケット」という言葉を口にしたり耳にしたりします。マナーとは、辞書をひくと、「行儀、作法」とあります。広義に表すと「思いやり」と言い換えられます。他者を意識して、いたわりや優しさの気持ちを、態度や形式に則った作法として表したものです。

マナーは生まれつき備わっているものではありません。生育環境（国・宗教・民族・時代など）の違いにより、後天的に身につくものですから、A国では良いマナーなのにB国では白い目で見られるなんてことも往々にしてあります。

このマナーには、法的拘束力はないと言えますが、皆が勝手気ままに行動をしたら迷惑を被る人がきつと現れます。つまり、マナーとは「他人に不快な思いをさせず、自分も快適に過ごすこと」、「互いが気持ちよく生活するためにあること」といえるでしょう。現在はありませんが、給食中に大声でしゃべったり立ち歩いたりするのを注意するのは、こうした意味があるわけです。こんなふうに、子供たちの家庭や学校での行為を、「マナー」というフィルターで覗いてみたい気がします。

人はマナーを学び、磨きをかけることで、立ち居振る舞いや佇まいに気品が出ます。何よりも、正しい振る舞いは自分を内面から輝かせ、自信へと導いてくれるはずです。

以下は、食事時のマナーです。「へ〜」ということもありますが、変にとらわれすぎず自然に…。

### ■手を受け皿にして食べる■

一見上品そうですが、「私は食べ方が下手です」のアピールのようなものです。汁が落ちそうなときは、とり皿や蓋を受け皿にするとよいと言います。

### ■スパゲッティを食べるときにスプーンを使う■

タレントの石塚英彦さんはフォークとスプーンで上手に食べて一言、まいう〜！上品な行為のようですが、「私は食べ方が下手です」と言っているような行為になってしまうそうです。

### ■フォークの背にライスを乗せて食べる■

外国通を語る日本人の知ったかぶりが始めたとも言います。私も父からこの食べ方を教わりましたが、正しくはフォークのへこんだ部分にライスを乗せて食べる方法です。

### ■箸を食器の上に置く■

この行為は、「料理をまたぐ」という失礼な意味があります。お盆があるときは、左ふちに箸先を置きます。あるいは箸袋を使って箸置きを作るとよいようです。

### ■食べ終わった食器を重ねる■

宿泊学習の食事で、私たち教員が子供に指導してきたことです。でも、高級料亭で使われるお椀などは高価で、重ねることで傷がつくことからマナー違反とされます。また、ファミレスや家庭でも、ほかの食器の裏に汚れがこびりつくので嫌がられるといえます。片づけやすいと思っただけのことでしたが…。

### ■食後にナプキンをきれいにたたむ■

レストラン等で食事後にナプキンをきれいにたたむのは、「料理が美味しくなかった」ことを意味します。席の上にグチャッと丸めて置くことが「また食べに来ます」のサインです。

